

令和3年度(2021年度)

管理事業名	上の川周辺整備事業			総合計画の体系	大綱 6 政策 1 施策 1	都市形成 みどり豊かで安全・快適な都市空間づくり 土地利用誘導と良好な景観形成
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 8	土木費	(項) 5	都市計画費	(目) 14 上の川周辺整備費
部局名	土木部	予算執行所属	地域整備推進室			
予算大事業名 上の川周辺整備事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
事業の目的と概要 【目的】 阪急電鉄豊津駅から関大前駅へ向かう、府道吹田箕面線における特に狭小な300m区間に、安心安全な歩行空間及び、みどりのネットワーク軸を延伸します。 また、歩行者ネットワークの拡大により、ウォーキングや健康遊具等の利用で、市民の健康寿命の延伸が図れるほか、吹田市と「災害に強いまちづくり連携協定」を締結している関西大学との連携を強化し、地域防災力の向上を図ることで、市民のいのちを守り、安心安全な暮らしを向上します。 【概要】 暗渠化する上の川の上部空間には、安心・安全なみどり等を整備した高質な歩行空間等を整備します。 災害活動等で使う大型車を関西大学へアクセスできる道路に改良(橋梁拡幅・踏切拡幅)し、多機能な防災拠点として活用が可能となるようにします。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	成果指標の定義
整備事業の進捗率	%	0.0	2.3	2.3	執行事業費累計/総事業費
整備する道路への車両誘導率	%	0.0	0.0	0.0	整備した道路に変更する車両台数/事業開始前に抜け道を利用する車両台数
成果の説明	暗渠化する上の川基盤整備工事に伴う支障物の移設を実施しました。 また、花壇踏切の拡幅に係る調査業務等を実施しました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	23,700	12,400	△11,300
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常収入 小計(a)	-	23,700	12,400	△11,300
給与関係費	-	29,890	18,888	△11,002
物件費	-	97	13,751	13,654
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	15,764	14,279	△1,485
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	-	2,629	1,507	△1,123
退職手当引当金繰入額	-	26,066	△7,380	△33,446
支払利息	-	-	30	30
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	-	74,446	41,074	△33,372
経常収支差額(a)-(b)=(c)	-	△50,746	△28,674	22,072
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	9,000	9,000
特別収入 小計(d)	-	-	9,000	9,000
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	9,000	9,000
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	-	△50,746	△19,674	31,072
一般財源充当額	-	33,540	27,965	△5,575
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	-	△17,206	8,291	25,496

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
負担金・補助金・交付金等	上の川遊歩道基盤整備(大阪府が実施)の費用負担 14,279千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表

(単位:千円)

区分	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	-	23,700	12,400	△11,300
行政サービス活動支出	-	48,087	50,848	2,761
行政サービス活動収支差額	-	△24,387	△38,448	△14,061
投資活動収入	-	-	9,000	9,000
投資活動支出	-	16,053	9,317	△6,736
投資活動収支差額	-	△16,053	△317	15,736
財務活動収入	-	6,900	10,800	3,900
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	6,900	10,800	3,900
収支差額 合計	-	△33,540	△27,965	5,575
一般財源充当額	-	33,540	27,965	△5,575
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 都市構造再編集中支援事業補助金 12,400千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民1人あたりのコスト	令和元年度		円	令和4年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民1人あたり108円のコストがかかっています。
	令和2年度	376,944人	198円	
	令和3年度	378,781人	108円	
	令和元年度		円	
	令和2年度		円	
	令和3年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	勘定科目		令和2年度末 A	令和3年度末 B	差額 B-A	
流動資産	現金預金	-	-	-	流動負債		2,629	1,857	△773	
	未収金	-	-	-	地方債		-	350	350	
	財政調整基金	-	-	-	短期借入金		-	-	-	
	短期貸付金	-	-	-	賞与引当金		2,629	1,507	△1,123	
	徴収不能引当金	-	-	-	未払金		-	-	-	
	その他流動資産	-	-	-	リース債務		-	-	-	
					その他流動負債		-	-	-	
事業用資産	有形固定資産	16,053	25,370	9,317	固定負債		30,630	32,429	1,799	
	土地	-	-	-	地方債		6,900	17,350	10,450	
	建物・工作物	-	-	-	長期借入金		-	-	-	
	リース資産	-	-	-	退職手当引当金		23,730	15,079	△8,651	
	建設仮勘定	16,053	25,370	9,317	リース債務		-	-	-	
	無形固定資産	-	-	-	その他固定負債		-	-	-	
	固定資産	有形固定資産	-	-	-	負債の部合計		33,259	34,285	1,026
		土地	-	-	-	純資産		△17,206	△8,915	8,291
		建物・工作物	-	-	-					
		建設仮勘定	-	-	-					
重要物品		-	-	-						
図書館資料		-	-	-						
投資その他の資産		-	-	-	純資産の部合計		△17,206	△8,915	8,291	
出資金		-	-	-						
長期貸付金		-	-	-						
基金		-	-	-						
徴収不能引当金	-	-	-	負債及び純資産の部合計		16,053	25,370	9,317		
その他債権	-	-	-							
資産の部合計	16,053	25,370	9,317							

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

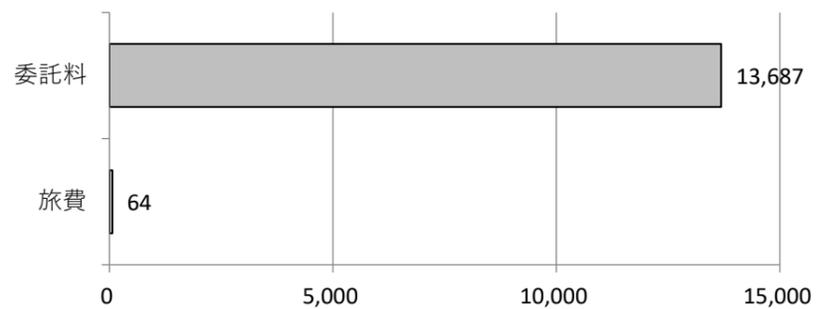
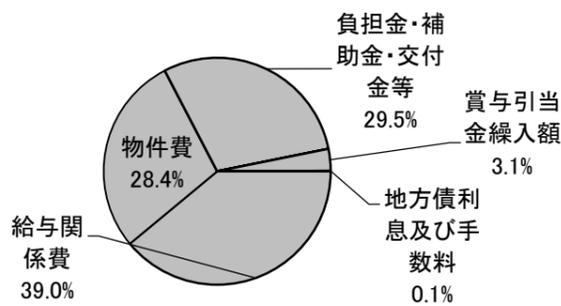
	常勤・再任用 月平均	会計年度任用等 年間従事延日数	特別職非常勤 年間従事延日数	合計(千円)
事業従事人数	2.6人	0日	0日	
給与関係費等	13,015千円	0千円	0千円	13,015
内、時間外勤務手当	401千円			

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建設仮勘定	千里山東山手円山1号線橋梁改良詳細設計業務 9,317千円

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	令和元年度	令和2年度 A	令和3年度 B	差 B-A
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		-	52.3	46.5	△ 5.8

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

事業の2年目であり、主な資産計上は設計業務委託費用の計上となっています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

今後においても、国の補助金等を活用して一般財源の負担軽減に努めます。